

「瀋陽日本人会」

瀋陽日本人会とは、「会員相互の親睦をはかり、会員の安全かつ快適な生活をつちかい、並びに日中友好親睦をはかることを目的とする」団体です。会員数は、個人会員が334名、法人会員が94社です。瀋陽日本人会では、親睦活動（ゴルフ大会、ボーリング大会、クリスマスパーティ）、生活インフラ向上（日本人会HP、生活情報誌、会員名簿）企業支援活動（企業情報交流会、企業セミナー）、地域貢献活動（日本語弁論大会、日本語文化祭後援）ほか、様々な活動をおこなっています。

これらの行事は、「幹事会」が中心となって運営されています。幹事会は、会長、副会長、事務局長、幹事、会計監査人、事務局によって構成されていて、2010年度の幹事会社は19社です。3月28日の総会において、当事務所が事務局長として会の運営に携わることが決まりました。新任事務局長として、瀋陽在住の日本人の皆さんの快適な瀋陽ライフのために頑張らねばと心を新たにしている今日この頃です。

正司 毅

「パスハ」

4月4日(日)、当地では「パスハ」のお祝いの日でした。

パスハと聞いてピンとこないと思いますが、これは英語でいうとイースター(復活祭)のことで、十字架にかけられてお亡くなりになったイエス・キリストが、三日目に蘇ったことを記念する日です。

お祝いの本質は、キリスト教もロシア正教も変わりがないと思われませんが、「春分の日の後の、最初の満月の次の日曜日」が、お祝いの日となること

から、冬の厳しいロシアでは春の到来を告げる、大切な季節行事の一つでもあります。

当日は教会でも特別なミサが行われ、また色が付いたデコレーション玉子は有名ですが、ロシアではクリーチといったパスハのための特別なパン等を食べてお祝いします。



樋口 充

「中国の不動産バブル ～マンション編～」

メディアでも再三報道されている中国の不動産バブル。

今回は続きもので不動産バブルの状況をレポートしたいと思います。

最近では都市部で1平米平均2万元程度、郊外で1.5万元程度にまで上がってきています。つまりこちらで一般的な広さ150平米くらいの物件だと都市部では最低4,000万円程度、郊外でも2,000万円程度なければマンションは買えません

(1元=13.5円で計算) この前覗いた不動産会社では

「265平米、4LDK、1300万元(約1億7000万円強)」という物件もありました。1平米約5万元(約70万円)です。その他にも億ションはゴロゴロしています。その為、最近では従来より狭いマンションも増えてきました。この状況を演出している中心はやはり富裕層ですが、一般的な家庭の人もちろんマンションを購入しています。その背景で必ず出てくるのが「親の援助」です。中国では結婚すると同時に住居も購入するというのが根強く残っている反面、現役世代の年収はまだまだ低い状況です。そこで親が大半の購入資金を援助し、新婚生活の場を用意するという構図です。ですが、ここまで不動産価格が上がるとその風習も崩れ始めている様です。



中島 康成